

(記入例)

(様式3号)

PTA家庭教育学級請求確認書

会場 (学校名)	川崎市立〇〇小学校				
実施日時	令和6 年 10月 16日(水) 10時00分 ~ 12時00分				
講演内容					
講師・ 助言者	肩 書	食育アドバイザー			
	(フリガナ) 氏 名	(〇〇 〇〇〇)			
	住 所	〒000-0000 〇〇市〇〇区〇〇町1-1-123			
	電話番号	(〇〇〇)〇〇〇			
謝礼 振込先	銀行・支店名	銀行 支店			
	口座番号	☐ 普通 ☐ 当座 ☐ 記入しない ☐ ためて御記入ください			
	口座名義 フリガナ				
	口座名義 漢 字				
	口座振込み額に ついて *あてはまる番号に 〇をつけてください。	① 個人(講師を反復、継続して行っている方) ③+④-⑤ 消費税を課税し、源泉徴収を行った金額 ② 法人 ③+④ 消費税を課税し、源泉徴収を行わない金額 ③ 市民講師など講師を反復、継続して行っている方 消費税を課税せずに、源泉徴収を行った金額 市民講師などを呼ぶ場 合以外は基本的に「1 か2」を選択します。			
上記の個人情報については適正に管理し、本学級の運営に関わる連絡及び謝礼の支払以外の目的には使用しません。					
謝礼額	①謝礼単価(時間)	②時間数	③謝礼額(①×②)	④消費税 (③×0.1)	⑤源泉徴収所得税 額及び復興特別所 得税(③×0.1021)
	¥6,000	2 時間	¥12,000	¥1,200	▲ ¥1,225
	口座振込額	【口座振込額について】			
	¥11,975	① 個人(講師を反復、継続して行っている方) ③+④-⑤ 消費税を課税し、源泉徴収を行った金額 ② 法人 ③+④ 消費税を課税し、源泉徴収を行わない金額 ③ 市民講師など講師を反復、継続して行っている方 消費税を課税せずに、源泉徴収を行った金額 市民講師などを呼ぶ場 合以外は基本的に「1 か2」を選択します。			

【講師の方へ】

- (1) 記入されている事項に誤りがないか御確認の上、謝礼振込先に御記入ください。
- (2) 消費税につきましては、消費税法により、課税期間に係る基準期間における課税売上高が
1,000万円以下の場合はその課税期間の納税の義務が免除されますが、消費税の免税事業者であっても、
適法に商品や役務の対価に消費税を転嫁することができ、役務の提供を受ける側も転嫁をしなければ
ならないとされています。また、講師を反復、継続して行っている場合は、個人事業開設届出の有無に関わらず
消費税法上の事業者該当することがあります。
そのため、講師を反復、継続して行っている方には、消費税を課税した謝礼額をお支払いします。
- (3) 本様式はプログラム実施日の1ヶ月前頃までに、ご返送ください。